

### 主な内容

- 私たちの新しい仲間「藤沢町」を知ろう……………P 2～8
- 県との政策協議……………P 10
- 暮らしの情報……………P 12～15



## イベントで復興応援

### 失った笑顔を取り戻す お客さんとのやりとり

気仙沼市の震災復興を願う「気仙沼復興  
応援市 with 第18回気仙沼クラシック  
カーミーティング」が7月31日、千厩町内で  
開催され、多くの来場者でにぎわいました。  
「クラシックカーミーティングの会場だっ  
た気仙沼商港岸壁が地盤沈下で利用できな  
い。千厩で会場を確保できないか」との話か  
ら開催の運びとなりました。

津波の被害を受けた気仙沼市の商店など  
を中心に、30店舗が出店した「気仙沼復興  
応援市」。衣類や玩具、B級グルメの「気仙沼ホ  
ルモン」、お弁当などの販売が行われました。  
主催した気仙沼活性化集団「粋代表の鈴木  
敦雄さんも、自身が営む金物店と自宅が被  
災。「何も考えられず、まるで映画のセットの  
中にいるよう。寒さをしのぐために車で暖  
をとったが、すぐに燃料がなくなった」と厳  
しかつた震災当時を振り返り、にぎわう会  
場の様子を見ながら「店を再開する目途も  
立たず悲観的になっていく人も多いが、お  
客さんの笑顔で自分たちも笑顔になれる。  
お客さんとのやりとりが前向きになるきつ  
かけになれば、本当に感謝したい」と語っ  
ていました。

気仙沼クラシックカークラブが主催した  
「気仙沼クラシックカーミーティング」には、  
東北各地や関東から、昭和61年以前の国産  
車、輸入車150台がずらり。きれいに手入  
れされた憧れの車の数々を囲んで談笑する  
様子や、昔懐かしいボンネットバスの試乗  
を楽しむ親子連れも見られ、多くの人々が  
交流を楽しんでいました。

